



1



3



7



2



4



5



8



6

1.《春耕》F20 2.《代播きの頃》F20 3.《深緑の響き》F30 4.《寂流》F50
5.《冬の陽》F15 6.《バラと猫》F30 7.《山湖秋映》F20 8.《光彩の波》F50

四季折々に多彩な表情を見せる風光明媚な里山の自然、茅葺屋根の家屋が点在する集落、其処に暮らす人々の穏やかな日常風景。倉島玲子は、日本の原風景に魅せられ、その研ぎ込まれた審美眼、洗練された画風、独特のリアリズムとともに描き続けてきました。朝に夕に、陽光や風の流れとともに、その色や姿を変えゆく天空や大地、湖や川の水面の光景を、瑞々しさと輝きに満ちた色彩、鮮明かつ繊細な表現で精緻に描き、自然に注ぐ深い思慕を具象化する倉島の作品世界は、気品に満ちた優美さで観るものを魅了します。そして、茅葺屋根や古い家屋、庭先や田畑で働く人々の素朴な光景は、胸に安らかな温もりと深い郷愁を与えてくれます。メインテーマ“—絵が語ること...。Nostalgic Scenes—”に込められた作家の想いは、自然の豊かさや美しさ、そして大切さを改めて感じさせてくれることでしょう。数々の風景画作品とともに人物画、抽象画、ペン画、デッサン等多彩な作品群から倉島玲子の世界を存分にお楽しみください。

倉島玲子 Kurashima Reiko 1974年 長野県更埴市（現千曲市）生まれ 画家

1999年 信州大学教育学部美術科卒業。 2000年～ 洋画家 雨宮英夫氏に師事。 2001年より個展活動を始める。
2008年（5月）長野県上水内郡小川村にてアトリエをひらく。
長野県内（長野市、千曲市、須坂市、小川村、安曇野市、松本市、池田町）にて個展35回、2人展2回。
東京都内・横浜市・長野県内にてグループ展等多数開催。
油彩画のほか、水彩画、デザイン等さまざまな制作に取り組んでいる。

自然の中でスケッチしていると、光と音と色の響きが私の五感に語りかけるように心地よく溶け込んでいきます。人も自然もすべての生物が地球という大きなお家で共生し、その互いの関連性の大切さに気づかされます。

倉島玲子

特別出品

雨宮英夫 Amemiya Hideo



《曲り屋の春》
油彩
F15

1949年 長野県上高井郡綿内村（現長野市）に生まれる
1969年 日本水彩画会会他へ出品、入選受賞多数
1975年 水彩画から油彩へ転向（独学で技法を習得）
長野県内で個展活動を開始
1988年 全国各地 百貨店にて個展を重ねる
日本の茅ぶき民家をモチーフに新作個展を実施
※開催箇所：東京・大阪・京都・鳥取・松江・札幌・
仙台・新潟・広島・名古屋・高崎・前橋・熊谷・盛岡・
水戸・松戸・藤沢・福岡・熊本・大分・韓国釜山
他 各地百貨店にて個展
現在 無所属
長野市の自宅と長野県聖高原にアトリエ

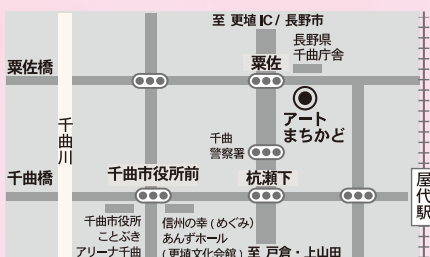
中村眞美子 Nakamura Mamiko



《ユキノカゼ30》
2022年制作
ドライポイント
60×90cm

1972年 長野県上水内郡信濃町に生まれる。
長野美術専門学校造形学科デザインコース卒業。
山下孝子氏、平山英三氏に師事。
2015年 「そこにあるもの—モノクロームの魅力—」
（小海町高原美術館）
2016年 個展「草の風景・冬」（銀座・秀友画廊）
2018年 「SHINBISM 2」（須坂版画美術館）
2023年 「特集展示 中村眞美子」（高崎市美術館）
「多様」（須坂版画美術館）
2024年 「Re-SHINBISM 2」（茅野市美術館）
他、個展を中心に活動

アクセス | ACCESS



長野自動車道更埴ICより車で約5分
しなの鉄道屋代駅より徒歩約15分・車で約5分

倉島玲子さんの個展に寄せて

偶然出会った信大の卒業以来、茅葺古民家のある風景でつながり、はや四半世紀が過ぎその中で倉島さんは才能と努力で自身の作風を確立し創作活動を続けています。これからも豊かな自然と風景の中で、信州の作家として新しい作品を創り出して欲しいと思います。

雨宮英夫

私にとって玲子さんは、作家として制作の喜びや悩みを共有できる数少ない友人の一人である。見過ごされがちな身近な風景を何とか描き出そうと一人格闘している姿にいつも心打たれ、勇気づけられてきた。今回、同じ空間に作品を展示させていただけることを光榮に思う。玲子さんのこれからの活躍にエールを贈りたい。

中村眞美子

千曲市アートまちかど

〒387-0007 長野県千曲市屋代 2176-2
TEL/FAX 026-272-4152